

ロボティクス&デザイン工学部 空間デザイン学科 カリキュラム・マトリクス [2022年度以降入学生対象]

ディプロマ・ポリシー

専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を身につけ、生涯に亘って「考え続ける」ための柔軟で粘り強い思考力の礎を築き行動できる。

- 1) [幅広い知識・教養を修得し生涯学習を継続できる思考力]
- 2) 専門分野に関する体系的な学習内容を含む知識・技術を活用し、具体的な課題解決のプロセスをデザインできる。[専門分野の知識・技術を活用する課題解決の過程デザイン]
- 3) ユーザの視点で社会などの課題に対して他者との協働により解決に取り組むことができる。[他者との協働によるユーザ視点の課題解決力]
- 4) 技術者としての倫理観、使命感を確立し、生涯に亘り学び続ける必要性を認識し、その姿勢を身につけ行動できる。[技術者としての倫理観・使命感に基づく行動力]
- 5) 的確な表現方法・技術を用いたコミュニケーション（英語によるコミュニケーション、視覚効果を考慮したプレゼンテーションなどを含む）によって、自らの考えを伝え、他者の理解や共感を導き出せる。[相互に理解して共感を導くコミュニケーション力]

A) デザイナーとして自然科学の素養や文化・芸術に関する知識を身につけるとともに工学的知識と思考力を備え、それらを活用できる。[身につけた教養を活用する思考力]

B) 専門分野としての建築・インテリアデザイン分野またはプロダクトデザイン分野の基礎と実践力をベースに協働で問題解決に取り組み、優れたデザインを創出できる。[具体的な提案へとまとめ上げるデザイン実践力]

C) 自らの発想などを的確に表現できるプレゼンテーション能力と、コミュニケーション能力を身につけて実行できる。[多様な情報をまとめ、端的に伝えるプレゼンテーション力]

D) 広い視野に立ち、社会の中で、デザイナーとして責任ある行動をとることができる。[デザインを社会的に位置づける社会的実行力]

E) 専門分野の技術の内容を体系的に理解し、PBLで養った実践的ものづくり力で、グローバル社会に対応した価値あるデザインを創出し、豊かな社会の実現に貢献できる。[デザインの広がりや未来を考える展開力]

◀DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△▶

領域	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP	
共通教養科目	社会活動の基礎となる日本語リテラシー（的確な文章表現・文章読解力）を身につける。グローバル人材に欠かせない国際共通語としての英語で意思疎通ができプレゼンテーションが行える実践力を獲得する。人文社会科学科で異なる領域の知識・考え方を学ぶことで、専門である工学的な知識や思考方法を相対化、その社会的意義について考え理解する。キャリア形成科目では、自身のキャリアマップを作成するとともに、学部の方針と目標を理解し4年間の学修計画を立てる。	文章表現基礎 I	2	○			○	◎							
		文章表現基礎 II a	1	○			○	◎							
		文章表現基礎 II b	1	○			○	◎							
		哲学	1	◎		△	○	△							
		倫理学	1	◎		△	○	△							
		美術史	1	◎		△	○	△							
		日本語の歴史	1	◎		△	○	△							
		憲法 a	1	◎		△	○	△							
		憲法 b	1	◎		△	○	△							
		経済学	1	◎		△	○	△							
		歴史学	1	◎		△	○	△							
		心理学	1	◎		△	○	△							
		日本の文化と社会	1	◎		△	○	△							
		人文社会特殊講義	2	◎		△	○	△							
		健康体育 I	1	◎		△	△	◎							
		健康体育 II	1	◎		△	△	◎							
		ブラクティカル・イングリッシュa	1	◎				△							
		ブラクティカル・イングリッシュb	1	◎				△							
		アカデミック・イングリッシュa	1	◎	△			△							
		アカデミック・イングリッシュb	1	◎	△			△							
		オーラル・イングリッシュa	1	◎				◎							
		オーラル・イングリッシュb	1	◎				◎							
		ベシク・プレゼンテーション	1	◎				◎							
		ビジネス・イングリッシュa	1	◎				△							
		ビジネス・イングリッシュb	1	◎				△							
		アカデミック・プレゼンテーション	1	◎	△			◎							
プロフェッショナル・イングリッシュ	1	◎	△			◎									
海外語学研修	2	◎				◎									
日本語 I	2	◎				◎									
日本語 II	2	◎				◎									
キャリアデザイン	1	◎	△	◎	◎	◎									
インターンシップ	2	◎	◎	◎	△	◎									
工学関連科目	専門科目を学ぶために必要な数学・物理の基礎的学力を修得し論理的思考力を身につける。技術者としての倫理観・使命感を確立し、生涯学び続ける姿勢を身につける。	解析学 I	2	◎	△				◎						
		解析学 II	2	◎	△				◎						
		解析学 III	2	◎	△				◎						
		線形代数 I	2	◎	△				◎						
		線形代数 II	2	◎	△				◎						
		確率・統計学	2	◎	△		△		◎						
		応用解析学 I	2	◎	◎										
		応用解析学 II	2	◎	◎										
		物理学 I	2	◎	◎		△		◎						
		物理学 II	2	◎	◎		△		◎						
		物理学実験	2	◎		◎		◎	△						
		地球科学	2	◎	◎		△		◎						
		生物科学	2	◎	◎		△		◎						
		工学倫理	1	◎	◎	◎	◎								
知的財産法概論	2	◎			◎	△									
生産マネジメント	2	◎			◎	△									
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	グローバルテクノロジー論 a	1	◎	◎				◎						
		グローバルテクノロジー論 b	1	◎	◎				◎						
		OIT概論	1	◎			◎								

領域	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP	
専門横断科目	「ユーザー中心の視点からイノベティブな発想を導き出すための手法」としての「デザイン思考」を実践できるようになる。技術者として必須の情報リテラシーと各専門分野における学修の基礎となるプログラミング能力を修得する。他分野の人と協働して問題解決に取り組めるようになる。	デザイン思考概論	2	◎	○		○		◎						
		造形演習	2					○				◎			
		ロボティクス&デザイン工学演習	●2	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
		ロボティクス&デザイン工学実践演習(国際PBL)	1	○	◎	◎					○	◎	○	◎	
		基礎情報処理	1	○	◎										
		プログラミング演習 I	●1	○	◎					◎					
		プログラミング演習 II	1	○	◎					◎					
		プログラミング演習 III	1	○	◎					◎					
		プログラミング演習 IV	1	○	◎					◎					
プログラミング実践演習	●1	◎	◎	○				◎							
デザイン共通科目	すべてのデザイン分野に共通する、基礎的な造形スキルやコンピュータ技能および、空間的、立体的構想力や表現力を修得するとともに、これらを的確に運用するための文化的、芸術的教養を身につける。	設計製図演習	●3	○	○			○			◎				
		CG基礎演習	2					◎			◎				
		CAD演習 I	2						◎			◎			
		CAD演習 II	2						◎			◎			
		色彩計画	2	◎				△	◎	△	△				
		インテリアデザイン計画	2	○		○				◎	◎				
		知の技法	2	◎			○		○				△		
		造形力学 I	2	◎						◎	△				
		造形力学 II	2	◎						◎	△				
		構造デザイン	2	○	◎					◎	○				
		構造材料・構造実験	2	○	◎	◎		○	◎	◎	◎	○			
		デザイン論 I	●2	◎		△	◎	◎	◎	△			◎	△	
		デザイン論 II	●2	◎		△	◎	◎	◎	△			◎	△	
		デザイン論 III	●2	◎		△	◎	◎	◎	△			◎	△	
		空間形態論	2	◎		△	◎	◎	◎	△			◎	○	
		生活空間デザイン	2	◎		△	◎	◎	◎	△			◎	○	
		インテリアデザイン史	2	◎		△	◎	◎	◎	△			◎	○	
		商空間デザイン	2	◎		△	◎	◎	◎	△			◎	○	
		ものづくりデザイン演習	2		◎	○				◎				○	
		人間工学	2	○	△	○				◎				△	
文化テクノロジー論	2	◎			○	○	◎	△				○			
基礎ゼミナール	1		◎	◎			○	○		○	△				
デザイン工学ゼミナール	●1	◎	◎			○	◎	◎	◎	◎	△	○			
空間デザイン系科目	建築デザイン分野において必須となる、製図技術や表現技法を体得するとともに、建築の設計や施工の際に求められる、計画理論や技術的知識について通曉する。	空間デザイン基礎演習	●2	◎	◎		△	◎	◎	◎	◎		○		
		空間デザイン演習 I	●2		◎		△	◎	◎	◎	◎		○		
		空間デザイン演習 II	●2		◎		△	◎	◎	◎	◎		○		
		空間デザイン演習 III	●2		◎		△	◎	◎	◎	◎	○	◎		
		空間デザイン演習 IV	●2		◎		△	◎	◎	◎	◎	○	◎		
		建築計画 I	2	○	△	△				◎				△	
		建築計画 II	2	○	△	△				◎				△	
		建築設計方法論	2	○	○					◎				△	
		都市環境デザイン	2	○	△	△				◎				△	
		日本建築史	2	○	△					◎				△	
		西洋建築史	2	○	△					◎				△	
		近代建築史	2	○	△					◎				△	
		建築構法	2	○	△					◎				△	
		建築構造学	2	○	△					◎				△	
		建築環境工学 I	2	○	△					◎				△	
		建築環境工学 II	2	○	△					◎				△	
		建築法規	2	○	△					◎				△	
		建築施工	2	○	△					◎				△	
		建築材料	2	○	△					◎				△	
		建築設備	2	○	△					◎				△	
プロダクトデザイン系科目	プロダクトデザイン分野において必須の、さまざまな加工、製作技術の熟達と、それらの裏付けとなる材料工学、造形理論、品質管理などについて通曉する。	プロダクトデザイン基礎演習	●2	◎	◎		△	◎	◎	◎	◎		○		
		プロダクトデザイン演習 I	●2		◎		△	◎	◎	◎	◎		○		
		プロダクトデザイン演習 II	●2		◎		△	◎	◎	◎	◎		○		
		プロダクトデザイン演習 III	●2		◎		△	◎	◎	◎	◎	○	◎		
		プロダクトデザイン演習 IV	●2		◎		△	◎	◎	◎	◎	○	◎		
		プロダクト材料工学	2	○	△					◎				△	
		コミュニケーションデザイン論	2	○	△			△	◎			△		△	
		コンテンツ応用論	2	○	△			△	◎			△		△	
		情報デザイン論	2	○	△					◎				△	
		デザインマネジメント	2	○	△	△				◎	○		○	△	
ラビッドプロトタイピング	2	○	△					◎				△			
デザイン史	2	○	△	○				◎				△			
卒業研究	卒業研究	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			

(注) 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目、■を付した授業科目は選択必修科目
(注) 「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う

ロボティクス&デザイン工学部 空間デザイン学科 カリキュラム・マトリクス [2017~2021年度以降入学生対象]

ディプロマ・ポリシー

- 1) 専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を身につけ、生涯に亘って「考え続ける」ための柔軟で粘り強い思考力の礎を築き行動できる。[幅広い知識・教養を修得し生涯学習を継続できる思考力]
- 2) 専門分野に関する体系的な学習内容を含む知識・技術を活用し、具体的な課題解決のプロセスをデザインできる。[専門分野の知識・技術を活用する課題解決の過程デザイン]
- 3) ユーザの視点で社会などの課題に対して他者と協働により解決に取り組むことができる。[他者との協働によるユーザ視点の課題解決力]
- 4) 技術者としての倫理観、使命感を確立し、生涯に亘り学び続ける必要性を認識し、その姿勢を身につけ行動できる。[技術者としての倫理観・使命感に基づく行動力]
- 5) 的確な表現方法・技術を用いたコミュニケーション（英語によるコミュニケーション、視覚効果を考慮したプレゼンテーションなどを含む）によって、自らの考えを伝え、他者からの理解や共感を導き出せる。[相互に理解して共感を導くコミュニケーション力]

- A) デザイナーとして自然科学の素養や文化・芸術に関する知識を身につけるとともに工学的知識と思考力を備え、それらを活用できる。[身につけた教養を活用する思考力]
- B) 専門分野としての建築・インテリアデザイン分野またはプロダクトデザイン分野の基礎と実践力をベースに協働で問題解決に取り組み、優れたデザインを創出できる。[具体的な提案へとまとめ上げるデザイン実践力]
- C) 自らの発想などを的確に表現できるプレゼンテーション能力と、コミュニケーション能力を身につけて実行できる。[多様な情報をまとめ、端的に伝えるプレゼンテーション力]
- D) 広い視野に立ち、社会の中で、デザイナーとして責任ある行動をとることができる。[デザインを社会的に位置づける社会的実行力]
- E) 専門分野の技術の内容を体系的に理解し、PBLで養った実践的ものづくり力で、グローバル社会に対応した価値あるデザインを創出し、豊かな社会の実現に貢献できる。[デザインの広がりや未来を考える展開力]

◁DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△▷

領域	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP	
共通教養科目	社会活動の基礎となる日本語リテラシー（的確な文章表現・文章読解力）を身につける。グローバル人材に欠かせない国際共通語としての英語で意思疎通ができプレゼンテーションが行える実践力を獲得する。人文社会科学科で異なる領域の知識・考え方を学ぶことで、専門である工学的な知識や思考方法を相対化、その社会的意義について考え理解する。キャリア形成科目では、自身のキャリアマップを作成するとともに、学部教育方針と目標を理解し4年間の学修計画を立てる。	文章表現基礎 I a	1	○			○	◎							
		文章表現基礎 I b	1	○			○	◎							
		文章表現基礎 II a	1	○			○	◎							
		文章表現基礎 II b	1	○			○	◎							
		哲学	1	◎		△	○	△							
		倫理学	1	◎		△	○	△							
		美術史	1	◎		△	○	△							
		日本語の歴史	1	◎		△	○	△							
		憲法 a	1	◎		△	○	△							
		憲法 b	1	◎		△	○	△							
		経済学	1	◎		△	○	△							
		歴史学	1	◎		△	○	△							
		心理学	1	◎		△	○	△							
		日本の文化と社会	1	◎		△	○	△							
		人文社会特殊講義	2	◎		△	○	△							
		健康体育 I	1	◎		△	△	◎							
		健康体育 II	1	◎		△	△	◎							
		ブракティカル・イングリッシュ a	1	◎				△							
		ブракティカル・イングリッシュ b	1	◎				△							
		アカデミック・イングリッシュ a	1	◎		△		△							
		アカデミック・イングリッシュ b	1	◎		△		△							
		オーラル・イングリッシュ a	1	○				◎							
		オーラル・イングリッシュ b	1	○				◎							
		ベーシック・プレゼンテーション	1	○				◎							
		ビジネス・イングリッシュ a	1	◎				△							
		ビジネス・イングリッシュ b	1	◎				△							
		アカデミック・プレゼンテーション	1	◎		△		◎							
		プロフェッショナル・イングリッシュ	1	◎		△		◎							
		海外語学研修	2	○				◎							
		日本語 I a	1	○				◎							
日本語 I b	1	○				◎									
日本語 II a	1	○				◎									
日本語 II b	1	○				◎									
キャリアデザイン	1	○	△	◎	◎	○									
インターンシップ	2	◎	○	○	△	◎									
工学関連科目	専門科目を学ぶために必要な数学・物理の基礎的学力を修得し論理的思考力を身につける。技術者としての倫理観・使命感を確立し、生涯学び続ける姿勢を身につける。	解析学 I	2	◎	△				○						
		解析学 II	2	◎	△				○						
		解析学 III	2	◎	△				○						
		線形代数学 I	2	◎	△				○						
		線形代数学 II	2	◎	△				○						
		確率・統計学	2	◎	△		△		○						
		物理学 I	2	◎	◎										
		物理学 II	2	◎	◎										
		物理学 I	2	◎	○		△		○						
		物理学 II	2	◎	○		△		○						
		物理学実験	2	◎		○			○		△				
		工学倫理	2	◎	○	◎	◎								
		知的財産法概論	2	◎			◎	△							
		ものづくりマネジメント（技術を生かす経営）	2	◎			○	△							
		グローバルテクノロジー論 a	1	◎	○			◎							
グローバルテクノロジー論 b	1	◎	○			◎									
OIT概論	1	◎				○									

領域	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP	
専門横断科目	「ユーザー中心の視点からイノベティブな発想を導き出すための手法」としての「デザイン思考」を実践できるようにする。技術者として必須の情報リテラシーと各専門分野における学修の基礎となるプログラミング能力を修得する。他分野の人と協働して問題解決に取り組めるようになる。	デザイン思考工学概論	2	◎	○		○		◎						
		デザイン思考実践演習	●1		◎	◎		○	◎					◎	
		ものづくりデザイン演習	2		◎	○				◎					○
		ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰ	●2		◎	◎			○	◎	○			◎	
		ものづくりデザイン思考実践演習Ⅱ	●1		◎	◎			○	◎	○			◎	
		基礎情報処理	1	○	◎										
		プログラミング演習Ⅰ	●1	○	◎					◎					
		プログラミング演習Ⅱ	1	○	◎					◎					
		プログラミング演習Ⅲ	1	○	◎					◎					
		プログラミング演習Ⅳ	1	○	◎					◎					
プログラミング特別演習	●1		◎	○				◎							
デザイン共通	すべてのデザイン分野に共通する、基礎的な造形スキルやコンピュータ技能および、空間的、立体的構想力や表現力を習得するとともに、これらを的確に運用するための文化的、芸術的教養を身につける。	設計製図演習	●2	○	○			○				◎			
		造形演習A	2					○				◎			
		造形演習B	2					○				◎			
		C G基礎演習	2					◎				○			
		CAD演習Ⅰ	2					◎				○			
		CAD演習Ⅱ	2					◎				◎			
		総合デザイン演習	●2	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
		色彩計画	2	◎				△		△	△				
		インテリアデザイン計画	2	○		○				○	◎				
		知の技法	2	◎			○			○				△	
		造形力学Ⅰ・同演習	3	◎						◎	△				
		造形力学Ⅱ・同演習	3	◎						◎	△				
		構造デザイン	2	○	◎					◎	○				
		構造材料・構造実験	2	○	◎	◎			○	◎	◎	○			
		デザイン論Ⅰ	●2	◎		△	◎			◎	△			◎	△
デザイン論Ⅱ	●2	◎		△	◎			◎	△			◎	△		
デザイン論Ⅲ	2	◎		△	◎			◎	△			◎	△		
空間デザイン論	●2	◎		△	◎			◎	△			◎	○		
文化テクノロジー論	2	◎			○	○	○	◎	△				○		
空間デザイン系	建築デザイン分野において必須となる、製図技術や表現技法を体得するとともに、建築の設計や施工の際に求められる、計画理論や技術的知識について通曉する。	空間デザイン基礎演習	●2		◎		△	◎		◎	◎			○	
		空間デザイン演習Ⅰ	●2		◎		△	◎		◎	◎			○	
		空間デザイン演習Ⅱ	●2		◎		△	◎		◎	◎			○	
		空間デザイン演習Ⅲ	●1		◎		△	◎		◎	◎		○	◎	
		空間デザイン演習Ⅳ	●2		◎		△	◎		◎	◎		○	◎	
		建築計画Ⅰ	2	○	△	△				◎				△	
		建築計画Ⅱ	2	○	△	△				◎				△	
		都市環境デザイン	2	○	△	△				◎				△	
		日本建築史	2	○	△					◎				△	
		西洋建築史	2	○	△					◎				△	
		近代建築史	2	○	△					◎				△	
		建築構造学	2	○	△					◎				△	
		建築環境工学Ⅰ	2	○	△					◎				△	
		建築環境工学Ⅱ	2	○	△					◎				△	
		建築法規	2	○	△					◎				△	
建築施工	2	○	△					◎				△			
建築材料	2	○	△					◎				△			
建築設備	2	○	△					◎				△			
建築設計方法論	2	○	○					◎				△			
プロダクトデザイン系	プロダクトデザイン分野において必須の、さまざまな加工、製作技術の熟達と、それらの裏付けとなる材料工学、造形理論、品質管理などについて通曉する。	プロダクトデザイン基礎演習	●2		◎		△	◎		◎				○	
		プロダクトデザイン演習Ⅰ	●2		◎		△	◎		◎	◎			○	
		プロダクトデザイン演習Ⅱ	●2		◎		△	◎		◎	◎			○	
		プロダクトデザイン演習Ⅲ	●1		◎		△	◎		◎	◎		○	◎	
		プロダクトデザイン演習Ⅳ	●2		◎		△	◎		◎	◎		○	◎	
		プロダクト材料工学	2	○	△					◎				△	
		コミュニケーションデザイン論	2	○	△				△			△		△	
		コンテンツ応用論	2	○	△				△			△		△	
		情報デザイン論	2	○	△					◎				△	
		デザインマネジメント	2	○	△	△				◎	○			○	△
		製品プロデュース論	2	○	△					◎				○	△
		ユーザビリティ工学	2	○	△	○				◎				△	
人間工学	2	○	△	○				◎				△			
デザイン史	2	○	△	○				◎				△			
卒業研究		卒業研究	●4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

(注) イ.単位数の前に●を付した授業科目は必修科目
 ロ.単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目